

特養職員講師 池新田高生が実習

御前崎市池新田高校で十二日、福祉について学ぶ実習授業があり、三年生二十人がお年寄りの介護などを体験した。

地域で活躍する人材育成を目的に、市社会福祉協議会と連携した福祉教育の一環。年間七回の福祉体験講座を開き、生徒たちが介護

や災害、子育て支援などを学んでいる。

この日の授業は、同校近くの特別養護老人ホーム東海清風園の職員が講師を務めた。生徒たちは、施設職員からお年寄りが望む介護の説明を受けた後、ベッドに寝たお年寄りの体位変換や歩行リハビリ運動の介助などを体験した。曾祖母が骨折して施設にいるという伊藤莉菜さんは「しっかりと介護を学び、ひいおばあちゃんの役に立ちたい」と熱心に授業を受けていた。



ベッドに寝たお年寄りの体位変換の方法を体験する生徒たち=御前崎市の池新田高校で

この日の授業は、同校近くの特別養護老人ホーム東海清風園の職員が講師を務めた。生徒たちは、施設職員からお年寄りが望む介護の説明を受けた後、ベッドに寝たお年寄りの体位変換や歩行リハビリ運動の介助などを体験した。曾祖母が骨折して施設にいるという伊藤莉菜さんは「しっかりと介護を学び、ひいおばあちゃんの役に立ちたい」と熱心に授業を受けていた。生徒たちは二十六日に、お年寄りの車いす移動の補助や着替えの介助なども体験する。

(夏目貴史)